

ず、と守りたいばあちゃんの大切な畑
秩父市立大田小学校 四年 木本 大貴
ぼくが一番好きな食べ物は、しおきゅうり
です。今年も五月の終わりに、ばあちゃん
の畑で育てたきゅうりを半分に切ってしおをす
りこんで食べました。とれたてのきゅうりは、
みずみずしくて甘くて、とてもおいしかっ
たです。

ばあちゃんには季節にあつた野菜を畑に作っ
ています。夏の畑はとてもにぎやかで、毎日
たくさん野菜がしゅうかくできます。今は
きゅうり、ナス、トマト、ズッキーニ、ピー
マン、ししとう、とうもろこし、モロヘイヤ、
オクラ、かぼちゃ、しょうか、長ネギ、とう
がらし、しそ、スイカ、さつまいも、里いも、
などたくさん野菜が植えてあります。ぼく
も時々、しゅうかくのお手伝いをしています。
いろいろな野菜をしゅうかくするのはとても
楽しいです。今年は、雨がふらない日が続い
たので、水不足で野菜が大きくならなかつた

2

り、苗がかかれてしまったり、いつもの年より野菜が育たなか。たとえばあちゃんが言っていたました。

「ばあちゃんは、ぼくが学校に行っている間に草むしりをしたり、畑をたかやしたり、土よせをしたり、し柱を立てたり、ひりょうをあげたり、野菜がおいしく元気に育つように手入れをしてくれています。そのおかげで、おいしい野菜を食べることができます。暑い日も寒い日も、毎日畑を見て手入れをしているばあちゃん、は、すごいなと思います。ばあちゃんに、

「ばあちゃんはすごいね。」

と言ったら、ばあちゃんが

「みんながおいしいづおいしいと言って食べられるのがうれしいし、育てた野菜が大きくなっているのが楽しみなんだよ。」

と言って、ぼくをだきしめてくれました。

ぼくも、育ててみたい野菜のタネを買って来て、ばあちゃんの畑にまかせてもらって

ろ

ます。水やりをしたり、ばあちゃんに育て方を教えてもらって、育てています。上手く育てることもありますが、上手く育てたないこともあります。えだ豆は、実が全然ふくらまなくて大失敗だ。去年もありました。その時、野菜を育てるのはむずかしいんだなと思いました。次の年には、水をたっぷりあげたり、ひりょうのやりすぎに注意したり、虫がついていなかよく見るようにしたら、えだ豆の実がふくらみました。売っているものみたいではな

いけれど自分で育てたえだ豆は、味がこくてとてもおいしかったです。

ぼくがたねをまいて、しゃうかくした野菜を家族みんなが、

「おいしい、おいしい。」

と言って食べてくれると、ぼくもうれしい気持ちになります。ばあちゃんといっしょです。だれかによろこんでもらえることは、とてもうれしいし、またおいしいものを育てたいなと思わせてくれます。

これからも、ばあちゃんに野菜の育て方を
教えてもらう。て、おいしい野菜を育てたいで
す。そして、ばあちゃん畑をぼくもいっし
やります。て、がんばります。